

# より良いフリースを得るための毛刈りのポイント ウールクラッサー 本出ますみ

毛刈りは羊毛を使うための技術です。行き先・用途を考えながら毛刈りをしよう！

★羊毛に湿気は禁物です。陽の当たるところに置いておくと、羊毛は呼吸するので、水分と脂で黄ばみが進みます。

★長期保存する時は、樟脳などの防虫剤と一緒にビニール袋（紙袋・布袋でもOK）に入れて、冷暗所に保管しよう！



①毛刈りはよく晴れた日を選ぼう。



ベリーは即!はずす

(お腹の毛)  
②ベリーは最初に刈って即!取ってはすそう。



③二度刈りしない。毛刈りの後で爪も切ろう。



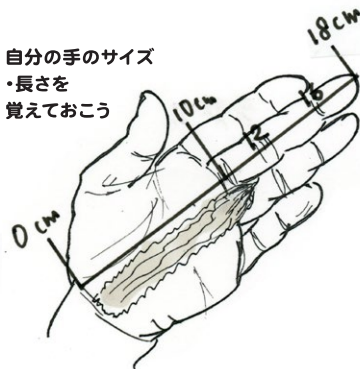
即!スカートティング



毛刈りしたまま袋に詰めると、糞尿や泥の汚れが全体にまわってしまいます。

④刈り終わったら、その場で即!スカートティングしよう。  
(ゴミや裾物を取る)

自分の手のサイズ・長さを覚えておこう



⑤ゴミを取ったら1頭ずつデータをとろう。  
毛長(手で測る)/毛量/色ツヤ/できれば毛の太い・細いなどの特徴も記録しよう。



⑥ローリングしたらどこに出荷するか考えよう。  
コンテスト?スピナー?セカンドクラス?そしてベリーとダメージウールは肥料?など。



⑦行き先が決まってから、ようやく袋に入れます。  
綿布か紙袋がよい。シーツなどの布に包んでもよい。